石屋工務店 かわら版

第114号

H27年2月3日 発行

石屋工務店 TEL 075 492-1483
（シックニ イシヤサン）

京都市北区大宮薬師山東町 47－5　建設業／京都府知事(般-25)第 31625 号　インテリアコーディネーター登録店

粋人 石屋の多趣味人生 その90

昭和40年男

最近はニッチな本が良く出ています。私の目を引いたのはこの本。昭和四十年生まれの男性を対象にした本です。前後の年代が有るのかと思ったのですが、それは無いようなので手に取ってみました。私とは五年の差が有るのでめ込むたちで、雑誌などの極力捨てず手元に置いてあります。この本に特集されている内容の本も数多く有るのですが、探すのが億劫で積み上げてあり、読み返す事はまず有りません。そんな折、青春時代を振り返るのには恰好の本だと思います。ノスタルジーになりますが、私の年代はいろいろと楽しむ事が世の中にあふれていたのだとつくづく思います。すべての物が発展途上で何がいいのかも断言できなかったのですが、その分とんでもない事を平気で考える事も出来たように思います。現在は全てがコンピューターやネットに集約されて行き、非常に便利なのですが、行きつく先が見えているような気がしています。これも私が歳をとったせいだけかもしれません。でも、この様な本が売れる背景には、私のような人間がずいぶん沢山いて、マーケットも成り立っているのでしょう。私も気をしっかり持って「今の若者は」と憎まれ口を言いまくる、嫌われ者の爺さんになりたいと思います。

石屋　紀次

リトライ

お正月休みもあっと言う間に過ぎ、また忙しい日々が始まりました。お正月休みの間、大雪が降り、どこにも出られない日がありましたが、二月も間近になるとすっかり暖かくなって来ました。新年を迎えると今年の目標を立てたくなります。私は、今年はもう一度英語を勉強し直そうかなと思っています。英語はと言う間に過ぎ、また忙しい日々が始まりました。お正月休みの間、大雪が降り、どこにも出られない日がありましたが、二月も間近になるとすっかり暖かくなって来ました。新年を迎えると今年の目標を立てたくなります。私は、今年はもう一度英語を勉強し直そうかなと思っています。英語はと言う間に過ぎ、また忙しい日々が始まりました。お正月休みの間、大雪が降り、どこにも出られない日がありましたが、二月も間近になるとすっかり暖かくなって来ました。新年を迎えると今年の目標を立てたくなります。私は、今年はもう一度英語を勉強し直そうかなと思っています。英語は好きで、社会人になってからも英会話に長い間通っていましたが、やはり使わないと忘れるもので、昨年末に外国の人に嵐山まで行きたいのだが交通機関と行き方がわからないと言われて説明したのですが、言いたい事がうまく伝えられずに焦っていると、通りがかりのおじさん（いや、紳士かな。）が、流暢な英語でスラスラと案内されたのがすごく格好良く、とても素敵に見えました。仕事と家事に追われているので、教室には通えませんが、まずは、英語で映画を見たり家事をしながらラジオを聞いたりして少しずつ始めたいと思います。

山本　夕起子

主治医

先日の人間ドックでは「逆流性食道炎」で再検査を言われました。そのせいか口臭もきつくなっているようなので主治医に相談すると、「薬より食後に水飲んで牛乳を飲めばいい」と、言われました。薬を貰ったら直ぐに治るって言われていたのに、水と牛乳を飲むって…なんかぞんざいに扱われたような気がしました。

長いお付き合いでのお医者ですが、たまには違うところに行かないと良くないのかなぁと思いました。かといって次に見つけるお医者が合うかどうか分からないのですが。結局薬を貰えなかったので、お水を少し飲み、牛乳を飲むことにしました。そうすると何故か調子がよくなり、どよ～んとした胃の重みとか口臭の強さがなくなってきました。

長年の主治医が良いんだか悪いんだか…悩むところです。

石坂　晴夫

成人式

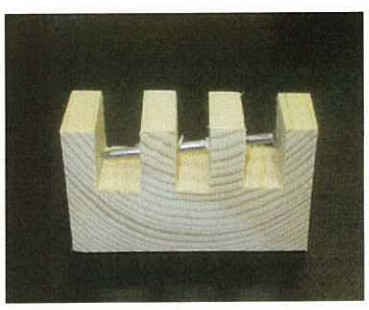
先月、無事に成人の日を迎えました。わくわくしながら式場へ着くと、みんな華やかな衣装に身を包み、私も気持ちが高まりました。式が終わると中学ごとのブースに移動し、卒業以来に会う懐かしい友人らと写真をたくさん撮りました。今はみんな離れ離れになってしまいましたが、原点はここなんだと改めて感じました。

式終了後は、祖父母に振袖姿を見せにいき、とても喜んでくれました。私が幼い頃に、振袖姿見れたらいいなぁと祖母が言っていたことを覚えていたので、今も元気でいてくれる祖父母に見せられたことが嬉しかったです。まだまだ元気でいてほしいです。そして両親にも、私が今元気に成人の日を迎えることができたことを感謝したいです。

これからは一人の大人としてしっかり歩んでいきます。

中西　恵梨

木の可能性

大学のレポートで建築材料について調べていました。構造のうち木造を扱っているので、木材をメインに文章展開をしています。いざ、木材を調べてみるとその数が多いこと。インターネットで簡単に調べただけでも国産で五十四種類、輸入材を含めると一七〇種類はあり、普段仕事で扱っている量の何倍もありました。特性も木によって大きく異なるものもあります。構造材としてはまっすぐ成長する針葉樹が適しており、ヒノキや杉、松（米松）がよく使われます。内部の造作材は使われる場所によって異なり、床はクリ・かば・ナラ、水廻りは水湿に強いヒバやヒノキが使われます。クリやヒバは腐朽に強いので、ウッドデッキなど外部の構造物の材料にも使われます。最近では南米・南洋のウリンやイペといった木材が使用されるようになってきました。これらは比重が大きく、特にウリンは水に沈むものもあります。また、製造技術が発達し、断面寸法の小さい木材を貼り合わせた集成材や丸太をカツラ剥きのように薄く切った単板を貼り合わせた合板など木材製品が出回っています。こうした技術により、より大スパンの構造物の建築も可能になりました。三重県の海の博物館は構造材料が集成材で作られている館があります。このまま次々と書いてしまうと一面文字だらけになりますので、このへんで切り上げます。最後に面白いものを作ってみました。木は他の素材にはない面白いものがまだまだありそうです。

古野　充宏